

単元名 4 人間のきずな 一 盆土産

配当時間 4時間

単元の目標 (1) 登場人物の言動や情景を表す語句に着目し、それらが作品に与える印象を述べることができる
 (2) 登場人物の言動から人柄や心情を読み取り、それらが話の展開や作品の印象にどう関わるかを捉えることができる。
 (3) 粘り強く登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って作品の印象を伝え合おうとする。

標準的な展開例

11210201_001

【準備等】国語指導CD, 再生機

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 作品を読んであらすじを捉え、「優しさや温かさ」「悲しさや寂しさ」を感じるところを表現に即して読み取る。 ○目標 (p. 92) を読み、学習の見通しをもつ。</p> <p>★作品を読んであらすじを捉え、「優しさや温かさ」「悲しさや寂しさ」を感じるところを読み取ろう。</p> <p>○「優しさや温かさ」などを感じる場面や表現に線を引くなどの印をつけながら、全文を通読する。 ○印をつけたところを発表し合い、作品全体から受ける印象をまとめる。</p> <p>2 登場人物のそれぞれの人柄や思いを捉える。 ○前時でつかんだあらすじや家族構成を確認し、本時の学習課題を知る。 ★登場人物の人柄や思いを読み取ろう。 ○登場人物の様子が描かれている表現に印をつけながら、全文を通読する。 ○登場人物の様子が描かれている表現をノートに整理し、それぞれの登場人物の人柄や心情を考える。</p> <p>3 登場人物の「えびフライ」に対する心情を捉える。 ○前時を振り返り、本時の学習目標を知る。</p> <p>★「えびフライ」「えんぴフライ」という語に込められた登場人物の心情を読み深めよう ○「えびフライ」「えんぴフライ」という語が出てくる場面や表現を音読する。 ○「えびフライ」「えんぴフライ」という語に込められた登場人物の心情をノートにまとめる。 ○「えびフライ」「えんぴフライ」という語に込められた登場人物の心情を発表し合う。</p> <p>4 作品を表現に即して読み味わう。 ○前時の活動を振り返り、本時の学習課題を知る。 ★自分が読み取った作品の印象を伝え合おう。 ○作品に対する思いをノートにまとめる。</p>	<p>・情景や心情の描写を捉えて文学を読み味わうことを、簡単に説明しておく。 ・次に示すような印象を受ける場面や表現に着目して、文章を読むことを確認する。 ・優しさや温かさを感じるところ ・悲しさや寂しさを感じるところ ・教師による範読か、または国語指導CDを利用する。 ・それぞれの観点ごとに発表をさせる。 【評】作品全体を通じての印象を、自分の言葉でまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・前時のノートや学習プリントを見ながら振り返る。</p> <p>・登場人物である「少年」「父親」「姉」「祖母」の様子が描かれている表現に着目させる</p> <p>・家族のつながりや互いを思い慕う心情については、第4時で扱うので、本時はそれぞれの表現に即して、その時々的心情と、そこから読み取ることができる人柄を考えさせる。 【評】登場人物の人柄や心情を表現に即して読み取る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・四つの場面や表現に着目させる。 ①少年が川へ釣りに行く場面をつぶやく「えびフライ」(p. 92～p. 96) ②少年が隣の喜作に対して言った「えびフライ」(p. 99～p. 99) ③祖母が墓の前で言った「えんぴフライ」(p. 101～p. 102) ④少年が父親を見送る停留所で言った「えんぴフライ」(p. 102～p. 104)</p> <p>・「えびフライ」「えんぴフライ」という語の話し手である少年や祖母の心情を考えながら読ませたい。 ・特に少年がつぶやく「えびフライ」「えんぴフライ」に注目させ、の心情の変化に気付くよう助言や支援をする。 【評】登場人物の心情を捉え、まとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・一晩中眠りを寸断してドライアイスで冷やし続けながら持ち帰ったという父親の苦労を知ったあたり(p. 97～)から、「えびフライ」が特別な意味をもち始めることに注意をさせようまでして「えびフライ」を持ち帰った父親の思いに気付かせたい。 【評】自分の意見や考えを発表する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・前時までの学習内容や、学習プリント、ノートを踏まえ、本文の表現に即してまとめるよ</p>

- ノートにまとめたことを発表し合う。
- 学習を振り返る。

うにする。
【評】 作品に対する思いをノートにまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
 ・学級の実態に応じて、グループでの発表にしてもよい。
 ・登場人物の言動の意味に着目することで、どのようなことが読み取れたか挙げさせる。

【 備 考 】

文学的な文章では、言動や心理の描写、情景の描写などに、作者のものの見方や感じ方などが表れている。また、説明的な文章では、論の中心的部分だけでなく、例示などがもつ効果が読み手を強く惹きつける場合も少なくない。この単元では、こうした多様な描写や例示のあり方に注目しながら、文章を読み深めることが目的となっている。また、描写や例示などは、書き手のものの見方や感じ方を具体的に伝え、読み手を楽しませる働きがある。

敬語の学習は、用語の暗記や分類ができるようになることが目的ではなく、社会生活の中で円滑なコミュニケーションを図るために適切に使用できることが求められる。そこで、学習の最初には敬語を使うべき場面はどこか、敬語を使うとどういう効果があるのかについて、実生活を振り返りながら考えさせ、今後の生活に生かすようにさせたい。

また、「盆土産」「字のない葉書」では、家族のつながりやきずなが題材となっている。これは、道徳のC- (14) 家族愛にあたり、自分と家族の関わりを見直すよい機会とさせたい。